

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします

令和8年2月16日

質問者氏名 杉森 弘之

牛久市議会議長 殿

質 問 形 式		一括方式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要 旨
1、市職員の労働環境	<p>(1) 労働契約</p> <ul style="list-style-type: none">・市職員の雇用契約の種類と各人数の現状と市としての計画・常勤職員採用数の2025年度の目標と結果、その原因と対策・会計年度任用職員の2025年度の常勤職員への採用数と能力実証、年齢制限・パワハラ・懲戒処分数と内容の15年前、2年前の推移と評価・障がい者雇用数と雇用率の現状と市内の障がい者数との比較、7月法定雇用率3.0% <p>(2) 給料(常勤)・報酬(非常勤)・賃金(臨時)</p> <ul style="list-style-type: none">・常勤職員初任給の近隣7市町との比較の評価と対策・常勤職員ラスパイレス指数と県内順位の15年前、2年前の推移の評価と計画・常勤職員とフルに近い会計年度任用職員の10年後の年収差 <p>(3) 労働時間</p> <ul style="list-style-type: none">・常勤職員平均的時間外労働の15年前、2年前の推移と削減対策・常勤職員振替休日の有無、未取得日数の平均及び最高日数。削減のための対応策・一般職員と課長級以上職員の年次有給休暇の未消化日数の平均・会計年度任用職員の15分短い労働時間とマニュアルとの整合性 <p>(4) 公務災害</p> <ul style="list-style-type: none">・療養休暇中の職員数と公務災害の割合と、評価、削減への対策
2、親子特区!!うしくと住宅施策	<ul style="list-style-type: none">・パワハラ・セクハラ・カスハラ発生数の15年前、2年前の推移と評価・戸建ての宅地開発とともに、高層住宅の開発・促進が必要ではないか・ひたち野うしく駅と牛久駅に建設された2棟のマンションの戸数、住居者数、・高層住宅建設のための再開発を含めた仕組み・方法のいくつかのパターン・許認可、規制・制限、必要期間・市街地再開発事業の具体的事例の紹介・牛久駅とひたち野うしく駅の周辺の再開発に適したスペースの有無、両駅の違い・高層住宅建設における国・県の補助の有無と内容、市の負担内容